

# JIS

## マグネシウム及びマグネシウム合金中の すず定量方法

JIS H 1342 : 2008

平成 20 年 7 月 20 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 非鉄金属技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員会長)	神尾 彰彦	東京工業大学名誉教授
(委員)	碓井 栄喜	社団法人軽金属学会 (株式会社神戸製鋼所)
	木股 隆三	株式会社ビスキャス
	小出 正登	日本伸銅協会 (三菱マテリアル株式会社)
	近藤 良太郎	社団法人日本電機工業会
	齋藤 鐵哉	独立行政法人物質・材料研究機構
	下村 孝	社団法人日本鉄道車輛工業会
	田村 泰夫	日本鋳業協会
	中野 利彦	株式会社神戸製鋼所
	中村 守	独立行政法人産業技術総合研究所
	西村 尚	東京都立大学名誉教授
	林 央	独立行政法人理化学研究所
	町田 克己	住友金属鉱山株式会社
	矢萩 強志	財団法人日本船舶技術研究協会
(専門委員)	福永 敬一	財団法人日本規格協会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 20.7.20

官 報 公 示：平成 20.7.22

原案作成協力者：日本マグネシウム協会

(〒104-0061 東京都中央区銀座 4-2-15 塚本素山ビル TEL 03-3538-0230)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：非鉄金属技術専門委員会 (委員会長 神尾 彰彦)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成協力者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室(〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1 E-mail:qqgcbd@meti.go.jp 又は FAX 03-3580-8625)にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## 目 次

	ページ
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 一般事項	1
4 分析試料の採り方, 保管方法及びはかり方	1
4.1 試料の採り方	1
4.2 分析試料の保管方法	2
4.3 分析試料のはかり方	2
5 定量方法の区分	2
6 ICP 発光分光分析法 (A 法)	2
6.1 要旨	2
6.2 試薬	2
6.3 試料はかりとり量	2
6.4 操作	3
6.5 空試験	3
6.6 検量線の作成	3
6.7 計算	3
7 ICP 発光分光分析法 (B 法)	3
7.1 要旨	3
7.2 試薬	4
7.3 分析試料はかりとり量	5
7.4 操作	5
7.5 空試験	5
7.6 検量線の作成	5
7.7 計算	5
8 ICP 発光分光分析法 (C 法)	6
8.1 要旨	6
8.2 試薬	6
8.3 分析試料はかりとり量	6
8.4 操作	6
8.5 空試験	7
8.6 検量線の作成	7
8.7 計算	7
解 説	8